

# 妙高高原教会再建計画・最終選考基準について

2024-03-15

## 1. 妙高高原教会再建理念について

妙高高原教会再建計画・最終選考の実施にあたり、あらためて「池の平クリスチャン村（ICA）・妙高高原教会にとって再建する**教会のあり方**」を話し合い、方向性を明確にした上で選考したいという考えに至りました。選考にあたっては、以下に示す「教会のあり方」に沿った基準を確認しつつ確信をもって結論を導き出します。

### 1.1 キリスト教の教会としてのあり方

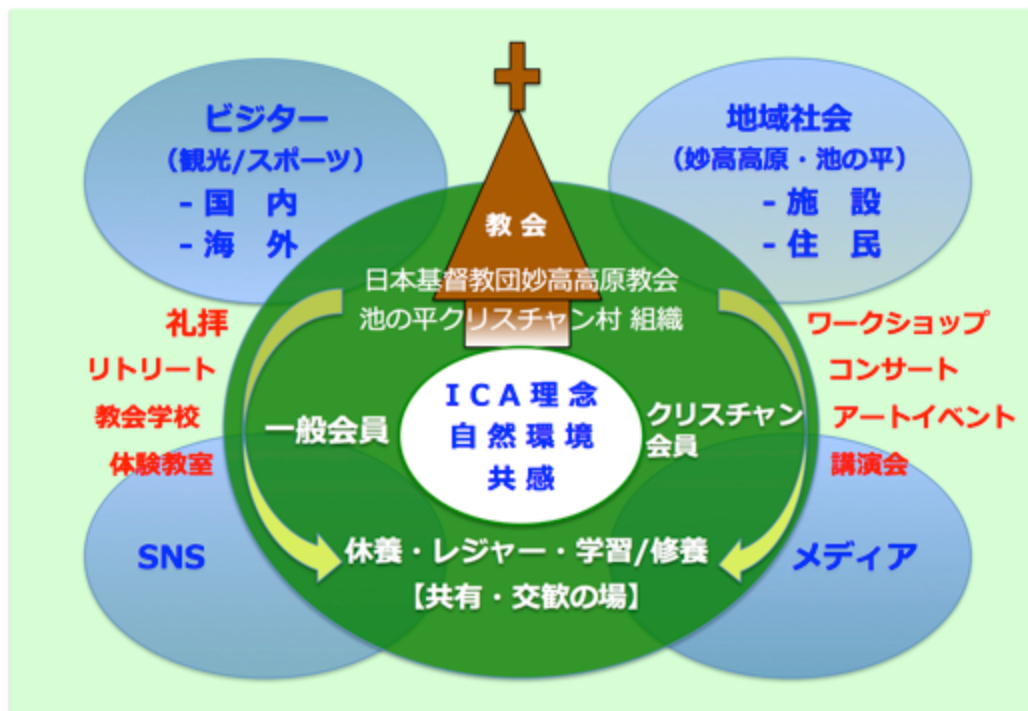
#### [基本的な概念・再建する教会のイメージ]

- キリスト教教会として、礼拝の開催を柱としてキリスト教の教え（聖書の言葉）を感じられる場である事
- ICA の会員以外、キリスト教信者以外の人々に幅広く開かれ、共有し維持していくための「場」としての機能（多目的利用）をもつ事
- シンプルで小さくとも、静かに祈り時間を過ごす事ができる場所でありたい
- 工費が少ないながらも美しく品格のある佇まいをもった建物・空間にしたい
- 見知らぬ観光客・ビジターにとっても教会と分かる建物でありたい
- 自然環境に負荷をかけず、自然に溶け込んで共生・共存する建物・空間でありたい
- 時間とともに使う人たちによって命が吹き込まれていく建物・空間でありたい
- 人工的でない、木の温もりに触れられる建物・空間を実現したい

### 1.2 池の平クリスチャン村の教会としてのあり方

- ICA の理念（目的）は「福音的教会に所属する者、あるいは、この教会に協力しようとする同志が、高原の大自然の中で静養すると共に、交わりを深め、かつ、近隣によき証をたてることを目的とする」という事にあります。

- 教会堂に限らず、どの建物もそれを利用する人々によって（使われる事によって）始めて維持され、生かされます。新しく建てられる「妙高高原教会」は ICA の為、プロテスタント・キリスト教信者の為だけではなく、地域やビジターの非クリスチャンの方々にも開かれた「場」として、それを維持する「人」があつまる「場」となる役割を担う事が望まれています。
- 教会堂の再建を、下のイメージ図のような形の「池の平クリスチャン村及び周辺地域の活性化と将来に繋がる教会のあり方を実現する」出発点にしていきたいと考えています。



- 設計事務所・建設会社の皆さまのご協力のもとに目標とする教会堂の実現を目指します。

池の平クリススチャン村・妙高高原教会

建設委員会・理事会・選考委員 一同